

令和2年度 八幡小学校 教職員 非違行為防止研修 その2

八幡小の教職員として、子どもたち、保護者・地域の皆さんに信頼されるように、4月から毎月、非違行為防止研修に取り組んでいます。()は、非違行為防止研修後の職員の感想)

- 11月
- ・体罰の防止に向け、「体罰の防止のためのセルフチェックシート」に取り組み、自身の行動や指導方法などについて見返した。

- 12月
- ・「交通安全の徹底と飲酒運転の防止」について、講師として千曲警察署交通課の警察官の方に、またオブザーバーとしてPTA副会長瀧澤さんに来校していただき、研修会を行った。
 - ・講師からは、交通事故や飲酒運転に関わる行動心理や、防止に向けて守るべきことなどについて教えていただいた。
 - ・PTA副会長 瀧澤さんからは、「交通事故の悲惨さを考え、常に、自分が選んだ行動について理由が説明できるように心がけています。」というお話があった。



- ・自分の軽率な行動で、周りや他の人を傷つけないようにしたい。
- ・交通事故は、その後の相手や自分の人生が大きく狂うことになるので、「つい」ということがないように、肝に銘じていきたい。
- ・具体的なお話を聞き、改めて意識を高く持って運転しなければならないと思った。飲酒運転防止はもちろん、交通法規を守りながら運転することは、最低限やらなければいけないと実感した。

- 1月
- ・4月に書いた「誓い」を読み返し、署名捺印することで、非違行為根絶に向けて気持ちを新たにした。
 - ・個人情報の保護について、改めて「八幡小 情報セキュリティ10箇条」を読み合わせ、本校職員として守るべきことを確認した。

- 2月
- ・これまでの研修を振り返り

- ・改めて思うことは、毎日の生活の中で「このくらい・・・」という甘さを持たず、しっかりと子どもたちとの関係をアップデートしつつ、気を引き締める必要があるということです。
- ・「まさか自分に限ってそんなことはないだろう」と思わず、「もしかして自分もそういうことがあるかも・・・」と思って研修をしていきたい。
- ・一番の恐さは、無自覚な部分が存在してしまうこと。自分の中で、「ここまでは大丈夫。」「これはいいだろう。」という自分の中での境界線のずれが恐ろしい結果を生んでしまうのだと思った。
- ・研修を通して、改めて教育公務員として自分自身の行動を見つめ直す機会ができた。これまでの研修を振り返り、これからも意識をより高く持って取り組んでいきたい。

- 3月
- ・スピード違反に関する事例と、2月に報道があった県内の「非違行為に関する新聞記事」を読み合わせ、非違行為の背景を考えあった。

今年度も、毎月、非違行為防止の研修を重ねてきました。事例の読み合わせやチェックリストの活用、同僚との意見交換など、いろいろな方法で非違行為防止への意識を高めてきました。

これからも、研修を重ねながら「信頼される八幡小の教職員」を目指していきたいと思えます。